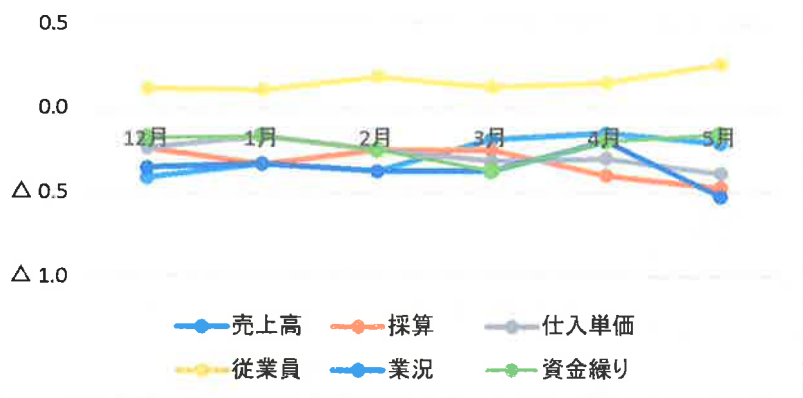


白河商工会議所LOBO調査結果(令和3年5月分)

実施期間: 令和3.5. 14 ~ 5.20 回答事業所: 19事業所

1. 全業種DI値

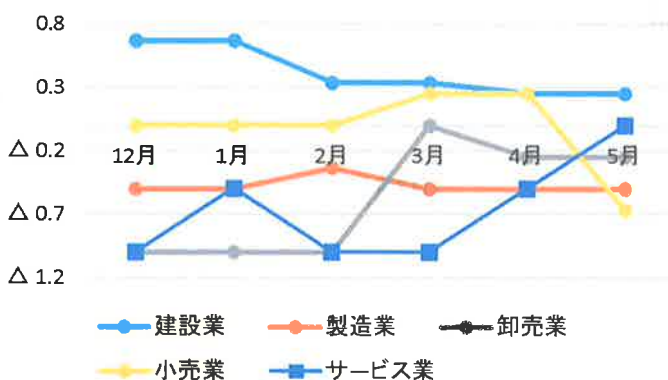
全業種(DI値)



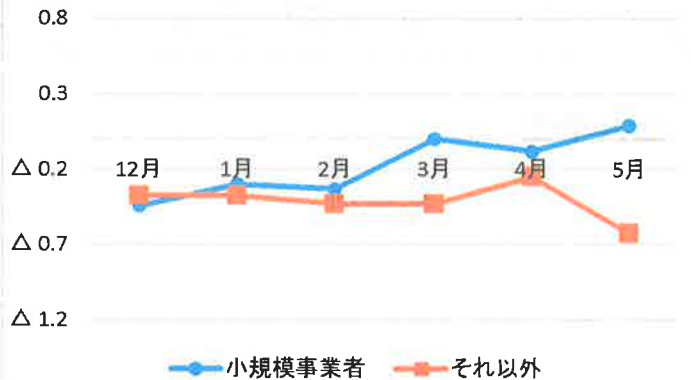
5月の全業種DI値を見ると、従業員が0.3で+0.1ポイント上昇している。仕入単価が△0.4で-0.1ポイント、採算が△0.5で-0.1ポイント、業況が△0.5で-0.3ポイント下落している。資金繰りが△0.2、売上高が△0.2で変化なしとなった。

2. 売上高

業種別



規模別



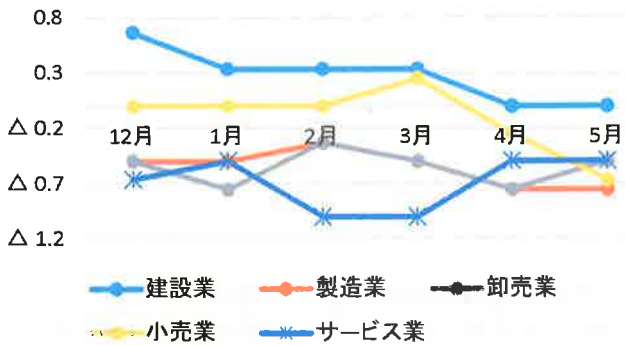
売上DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.2
建設	0.7	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 1.0	△ 1.0	△ 1.0	0.0	△ 0.3	△ 0.3
小売	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	△ 0.7
サービス	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	0.0
小規模	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3	0.0	△ 0.1	0.1
それ以外	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.6

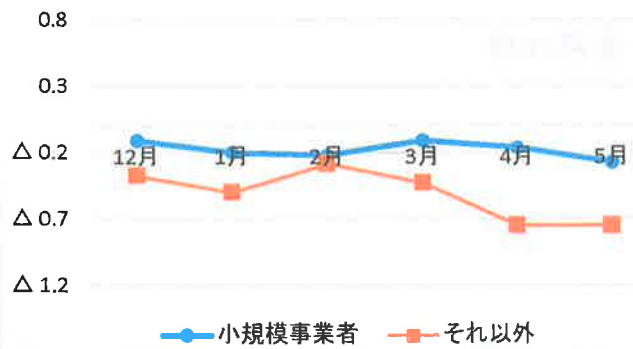
全産業の売上DIは△0.2で横ばい。業種別に見てみると、サービス業が前月比+0.5ポイント上昇。一方で小売業は-1ポイント下落という結果となった。建設業・製造業・卸売においては横ばいという結果であった。規模別に見ると、小規模事業者では前月比+0.2ポイント上昇、それ以外の事業所では-0.3ポイント下落となっている。

3. 採算

業種別



規模別



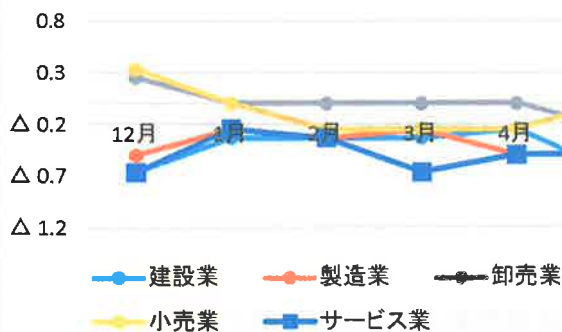
採算DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.5
建設	0.7	0.3	0.3	0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.8	△ 0.5
小売	0.0	0.0	0.0	0.3	△ 0.3	△ 0.7
サービス	△ 0.7	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5
小規模	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3
それ以外	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.8	△ 0.8

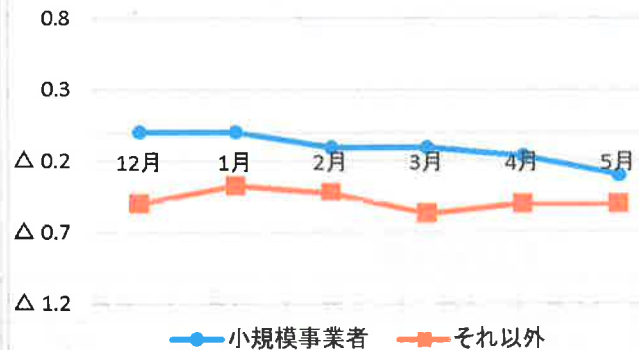
全産業の採算DIは△0.5で前月比-0.1ポイント下落。
業種別にみると卸売業が前月比+0.3ポイント上昇している。一方で小売業は-0.4ポイント下落した。建設・製造・サービス業が横ばいという結果となった。
規模別にみると、小規模事業者は-0.1ポイント下落、それ以外は変化なしという結果となった。

4. 仕入単価

業種別



規模別



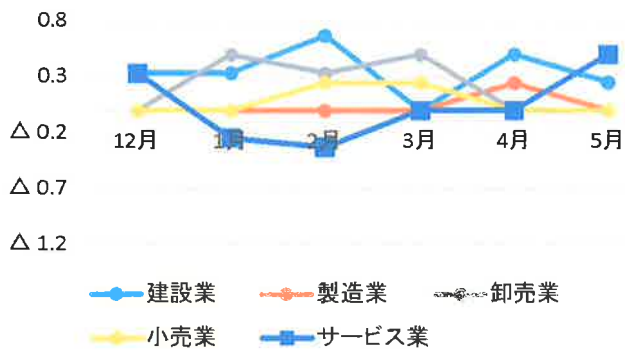
仕入単価DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.4
建設	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7
製造	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5
卸売	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 0.3
小売	0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.7	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.5
小規模	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.2	△ 0.3
それ以外	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.6	△ 0.5	△ 0.5

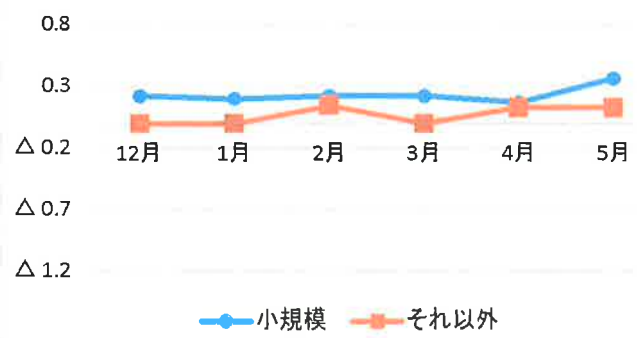
仕入単価の全産業DIは△0.4で前月比変化-0.1ポイント下落している。
業種別にみると小売業が前月比+0.3ポイント上昇し、建設業が-0.4ポイント、卸売が-0.3ポイント下落している。製造・サービス業は変化なしという結果となった。
規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.1ポイント下落し、それ以外では変化なしとなっている。

5. 従業員

業種別



規模別



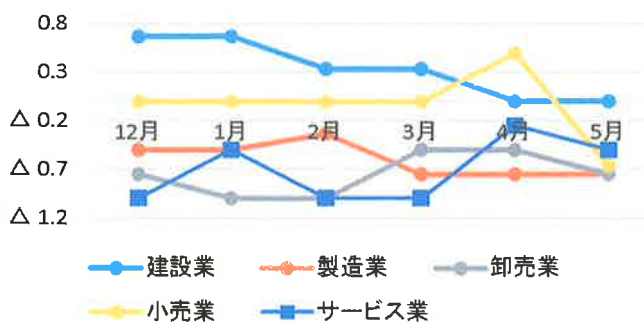
従業員DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3
建設	0.3	0.3	0.7	0.0	0.5	0.3
製造	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
卸売	0.0	0.5	0.3	0.5	0.0	0.5
小売	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0
サービス	0.3	△ 0.3	△ 0.3	0.0	0.0	0.5
小規模	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.4
それ以外	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1

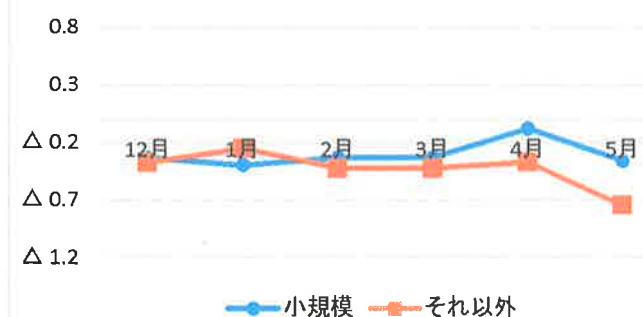
従業員の全産業DIは0.3で前月から+0.1ポイント上昇している。
業種別にみると、卸売・サービス業が前月比+0.5ポイント上昇している。一方で建設業では前月比-0.2ポイント、製造業では-0.3ポイントの下落。小売業においては横ばいという結果であった。規模別にみると、小規模事業者が+0.2ポイント上昇し、それ以外では変化なしとなっている。

6. 業況

業種別



規模別



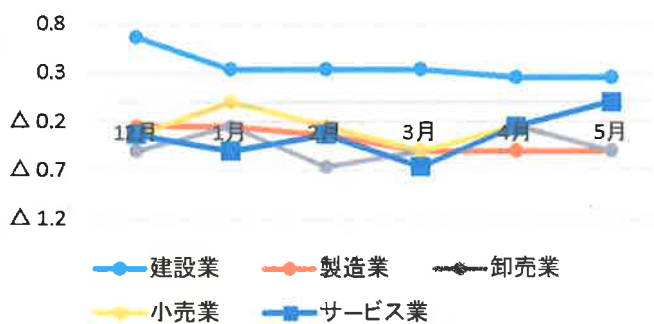
業況DIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.5
建設	0.7	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0
製造	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.8	△ 0.8	△ 0.8
卸売	△ 0.8	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.8
小売	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	△ 0.7
サービス	△ 1.0	△ 0.5	△ 1.0	△ 1.0	△ 0.3	△ 0.5
小規模	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.1	△ 0.4
それ以外	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.8

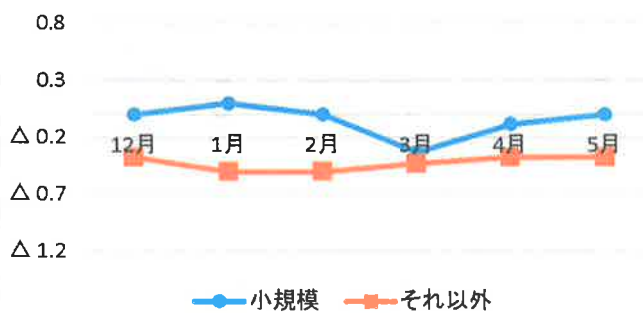
業況の全産業DIは△ 0.5と、前月比-0.3ポイント下落している。
業種別にみると小売業では-1.2ポイント、卸売業では-0.3ポイント、サービス業では-0.2ポイント下落している。建設業・製造業は横ばいという結果となった。規模別にみると、小規模事業者は前月比-0.3ポイント、それ以外は-0.4となっている。

7. 資金繰り

業種別



規模別



資金繰りDIの推移

	12月	1月	2月	3月	4月	5月
全産業	△ 0.2	△ 0.2	△ 0.3	△ 0.4	△ 0.2	△ 0.2
建設	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
製造	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.5
卸売	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.5
小売	△ 0.3	0.0	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	0.0
サービス	△ 0.3	△ 0.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 0.3	0.0
小規模	0.0	0.1	0.0	△ 0.3	△ 0.1	0.0
それ以外	△ 0.4	△ 0.5	△ 0.5	△ 0.4	△ 0.4	△ 0.4

資金繰りの全産業合計DIは△0.2で横ばいとなっている。
業種別にみると、小売業・サービス業が前月比+0.3ポイント上昇、卸売業が-0.2ポイントの下落。建設業・製造業においては横ばい。
規模別にみると、小規模事業者では前月比+0.1ポイントの上昇、それ以外では横ばいという結果であった。

※「建」:建設業、「製」:製造業、「卸」:卸売業、「小」:小売業、「サ」:サービス業

1.付帯調査【新型コロナウイルスによる影響について】

1-1 新型コロナウイルスによる経営のマイナスの影響について

	建	製	卸	小	サ	合計
①深刻なマイナスによる影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が50%超減少)		1	1		1	3
②大きなマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が30%程減少)		1	1		1	3
③ある程度のマイナスの影響が続いている(感染拡大前と比べ、売上が10%程度減少)	2	1	1	1	1	6
④現時点で影響はないが、今後マイナスの影響が出る懸念がある	2		1	2		5
⑤影響はない		1				1
⑥分からない					1	1
⑦回答不能						0

2.付帯調査【設備投資について】

2-1 2019年度と比較した場合の2020年度の設備投資(国内のみ)について

	建	製	卸	小	サ	合計
①規模を拡大して実施 ※2019年度は実施せず、2020年度は実施した場合含む	1				2	3
②2019年度と同水準で実施	1			1	1	3
③規模を縮小して実施			2			2
④実施しなかった	1	4	2	1	1	9
⑤回答不能	1			1		2

2-2 2020年度と比較した場合の2021年度の設備投資(国内海外問わず)について

	建	製	卸	小	サ	合計
①規模を拡大して実施予定(実施済み含む) ※2020年度は実施せず、2021年度は実施する場合含む						0
②2020年度と同水準で実施予定(実施済み含む)	2			1	1	4
③規模を縮小して実施予定(実施済み含む)			2		1	3
④実施しない・見送る(予定含む)	1	3	2	1	1	8
⑤現時点では未定		1			1	2
⑥回答不能	1			1		2

2-3 2-2で①～③と回答した場合 設備投資を行う理由について ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①人手不足に対応するため			1			1
②従業員の時間外労働や長時間労働の抑制のため			1			1
③現在または将来の需要増に対応するため	1			1	2	4
④コロナの影響で既存事業では売上が見込めず、ビジネスモデルを転換するため						0
⑤自己資金が増加した・財務体質が強化されたため						0
⑥資金調達が円滑になったため(金融機関の借入・返済等)			1			1
⑦設備投資コスト(IT・クラウド等)が下落したため	1		1			2
⑧販売や生産状況等のデータを収集するため	1					1
⑨補助金や助成金等を活用できるため	1					1
⑩税制面での優遇措置を活用できるため						0
⑪従業員や来客者等の新型コロナウイルス感染予防のため			1	1		2
⑫その他						0
⑬回答不能	2	4	2	2	2	12

2-4 2-3で①～③と回答した場合 設備投資を行う目的について ※複数回答可

	建	製	卸	小	サ	合計
①能力増強	1				1	2
②省力化・合理化	1		1	1		3
③製品・サービスの品質向上	1			1	1	3
④新製品生産						0
⑤新分野への進出						0
⑥省エネルギー対策			1			1
⑦CO2排出削減			1			1
⑧研究開発						0
⑨IT投資・情報化対応	2		1			3
⑩新型コロナウイルス感染防止対策				1		1
⑪既存設備の維持・定期更新(設備性能の向上を伴わない)	2				1	3
⑫その他						0
⑬回答不能	2	4	3	2	2	13

付帯調査まとめ

新型コロナウイルスによる経営への影響に関する付帯調査では、マイナスの影響が続いていると回答した事業所が6割以上、今後の懸念を含めるとほとんどの事業所が影響が出ると回答している。また、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で売上が減少する一方で原材料費等が高騰したり、開催決まっていたイベントが中止になってしまったというコメントが寄せられた。

2019年と比較した国内での設備投資に関する設問では約半数が実施していないという回答をした。また、規模を拡大もしくは同程度実施したのは15%ずつだった。設備投資を行う理由で一番多くの割合を占めたのは、「現在もしくは将来の需要を見越して」であり、次点が「設備投資のコストが下落したため」だった。

また国内外問わない場合の設備投資と比較した結果では、40%が実施していない、同程度で実施が20%等という結果となった。設備投資の理由では、省力化・合理化や製品・サービスの品質向上、IT関連の投資や情報化への対応、既存設備への投資や維持という理由が多いという結果となった。